

まほろばの杜

# 彌彦神社

## 境内めぐり

御日供祭

集合場所

・ 祈禱殿受付前

集合時間

・ 午前六時五〇分



弥彦山

御神廟

○飯殿(いどの)  
1月15日夜半  
天候と作柄を占う

万葉の道

拝殿

本殿

祈禱殿  
祈禱受付

社務所

鼓楼

神符授与所  
御朱印記帳所

随神門

摂末社

重文十柱神社  
元禄年間の建物

舞殿

参集殿

神馬舎

齋館

神様の渡られる橋

車御祓所

御神木

宝物殿

明治天皇  
行在所跡

玉の橋

絵馬殿

手水舎

表参道

神符授与所  
車受付授与所

火の玉石

日本鶏舎

神社前通り  
← 弥彦駅方面

一の鳥居

相撲場

鹿苑

お手洗い

みずぼ館

弓道場

新潟

下諏訪神社

50種類の桜が  
植えられています

祓戸神社



お問い合わせ

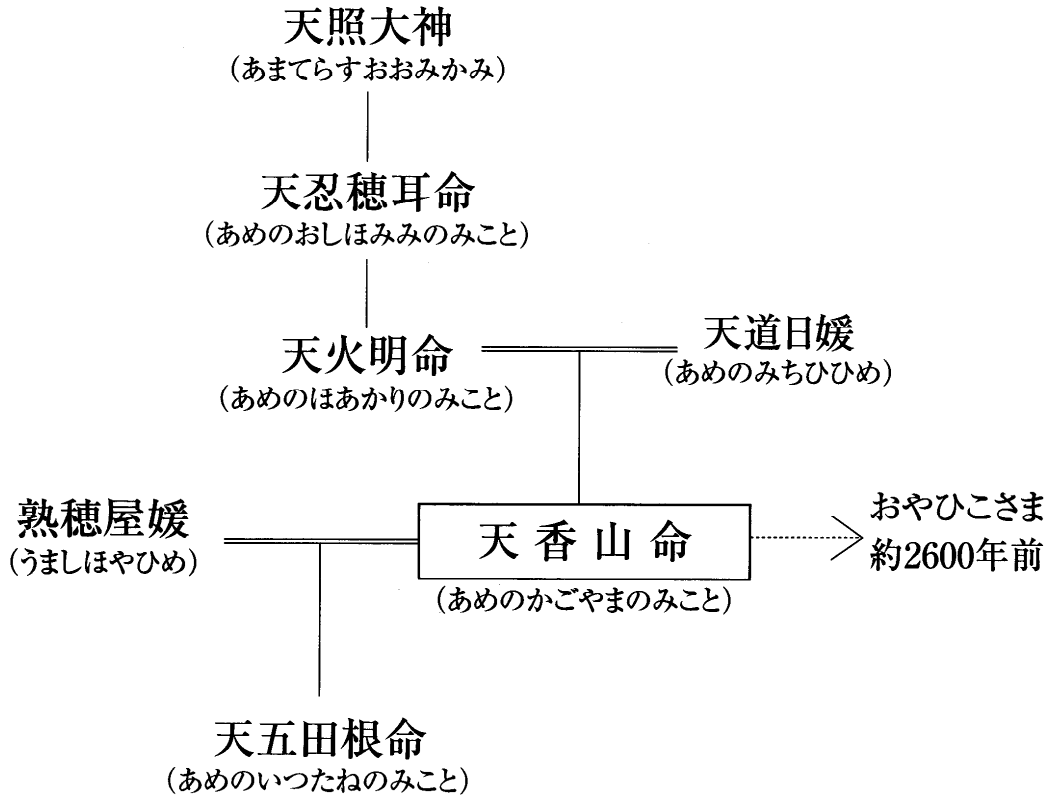
(社) 弥彦観光協会

電話 〇二五六九四三二一五四

〒九五九〇三三三 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦

# おやひこさま系図

《彌彦の大神さまは、天照さまの、ひ孫です》



おやひこさまは弥彦に下向される前は、紀伊半島の熊野にお住まいでした。和歌山県新宮市にある神倉神社(かんのくらじんじゃ)は、おやひこさまが当時、高倉下命(たかくらじのみこと)と呼ばれていた頃の社(やしろ)です。

その後、神武天皇が東征(九州から大和に向かった)された折、高倉下命は紀伊から大和へご案内され、やがて大和の地に大和朝廷が成立したのです。

橿原の宮で神武天皇が即位して4年ほど後に、高倉下命は天皇より高志(こし)〈越の国〉の国造りの命令を受けられました。

高倉下命たち一行は現在の寺泊町野積海岸に上陸し、その後弥彦の地に居をかまえた命は、天香山命(あめのかごやまのみこと)と呼ばれ、越後の国の開拓に力を注がれたのです。

野積浜には「弥彦神社御上陸地」と刻まれた高さ1メートルほどの石碑が建てられています。